

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

<p>施策の内容</p>	<p>子どもが発達段階に応じて人権尊重や男女共同参画への理解を深めることができるよう、男女共同参画の視点に立った学校運営や教育、学習、保育を充実させます。</p>
--------------	---

11		数値目標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修等に積極的に参加し、園内研修にも取り入れるなど、職員全体の意識向上につなげるとともに、日々の保育においても人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育・保育を進めていく。 男女共同参画のモデル保育所を丸亀市保育所ブロック会として毎年度1か所ずつ設置し、保護者参加の家庭教育講座の開催などの研究事業を行っていく。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修の機会を持つ。（各園：年間1回以上参加） 人権(生命の尊さ、障がい、異文化、男女など)について、子どもたちの年齢に応じて、分かりやすく伝える日々の保育を大切にする。 年6回保護者参加の集会を計画し、保護者への啓発に努める。 男女共同参画のモデル保育所として、担当園は、できるだけたくさんの保護者が参加できるような事業を計画し、年1～2回開催する。 							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の男女共同参画職員研修に積極的かつ参加者に偏りがないように参加する。29年度2名参加 年間計画において作成された集会等は、計画どおり実施され、保護者の参加も増えたところもある。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 継続して順次参加を促すことで、より多くの職員が研修を受けられ、男女共同参画の意識を高められている。 子どもたちへの日々の保育を通しての人権尊重や、男女共同参画の視点に立った教育・保育は、浸透されている。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 研修時だけの学びにならぬように、参加は継続し、園内研修にも取り入れ、職員全体の意識向上に努め、日々の保育に役立てるようにする。 子どもたちに伝える際に、より分かりやすく、理解しやすいような工夫や教材を模索する。 保護者へのより多くの参加が促されるような計画や日程調整が必要である。 							

12		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	①児童生徒の発達段階に応じ、各教科や特別活動等、学校教育全体を通して、人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を進めていく。 ②校長会の中で、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を行うとともに、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設ける。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①各校の年間計画の中に人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を必ず位置付ける。 ②校長会の中で、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を年間を通じて複数回行う。また、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設ける。							
H29 事業実績	①人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を年間計画に位置づけ、計画的に指導を行った。 ②校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を行った。また、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設けた。							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	・計画的に学習指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じて人権尊重や男女共同参画について意識させることができた。							
事業の実 施状況 を踏ま えた課題	・今後も、児童・生徒に対する教育を継続したり、教員に対する防止に向けた指導を継続的に行う必要がある。							

13		数 値 目 標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
施策の 内容	教職員や保育士が、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深められる機会を提供します。							
H29 事業計画	・幼稚園教諭や保育士が積極的に研修等が受講できるよう配慮することにより、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深めていく。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・教育講演会にてLGBTについての理解と認識を深める研修を実施（参加者 幼稚園：過半数以上の職員、こども園：2名以上の参加） ・ジェンダーに関する研修に職員が代わり合って参加するとともに、園内研修としてジェンダーに関するテーマを設け、職員間で話し合う機会を持つ。							
H29 事業実績	・教育講演会にてLGBTについての理解と認識を深める研修を実施（参加者 幼稚園：こども園：52名参加） ・研修、講演会等に積極的に参加し、理解と認識を深める場となっている。							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	・教育講演会での実施であったため、大半の参加となり、職員で学びを共有できた。 ・他団体の計画したジェンダー、LGBTに関する研修に参加し、園内研修において報告がなされるなど、職員間での共通理解を行うことができた。							
事業の実 施状況 を踏ま えた課題	・引き続き積極的に研修等に参加し、園内研修等に取り入れるなど、職員全体の意識向上につなげ、日々の保育に活かしていく。							

14		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	①男女共同参画研修の周知を職員へ行う。 ②ジェンダーに関する理解を深められる研修を実施する（8/24）。							
H29事業計画に関する 具体的な目標	①6月に男女共同参画研修の周知を職員へ行う。 ②8/24丸亀市教育講演会で、LGBTに関する講演を開催する。							
H29 事業実績	①6月に男女共同参画研修の周知を職員へ行き、8月の研修会には22人が参加した。 ②8/24丸亀市教育講演会において、LGBTに関する講演を開催し、保幼小中の教職員約600人が参加した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・講演会や研修会等を通して、教職員のLGBTへの理解が深まった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・教育講演会については、教育課題全般を扱うため、毎年、本テーマでの講演は難しいが、今後も理解促進のための研修会等への参加を呼びかける必要がある。							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
<p>幼保運営課長</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な立場の職員が研修に参加できたことで、より多くの職員が男女共同参画の意識をより高めることができた。子どもたちの年齢に応じて、分かりやすく、理解しやすいような工夫を施し、日常の中で、人権尊重や、男女共同参画の視点に立った教育・保育が実施できていた。 ・ジェンダー、LGBTに関する研修に参加し理解を深めていた。また、園内研修での共通理解を行うなど、引き続き積極的に研修等に参加し、職員全体の意識向上を図り、日々の保育に活かしていかなければならない。
<p>学校教育課長</p>	<p>B</p>	<p>学校現場においては、男女共同参画の視点に立った学校運営や教育、学習を充実させ、発達段階に応じた教育が行われている。</p> <p>教職員の研修については、市内全教職員を対象にした夏季研修において、LGBTに関する講演を行うなど、全員が容易に解決できない課題について考える機会となった。</p>

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
<p>B</p>	<p>年齢に応じた対応、特に現場と共に実践している幼保運営課の姿勢は評価できる。今後、学齢期での取り組みにおいても、丸亀の独自性が発揮できるよう、教育現場の環境整備・支援の取り組みを望む。</p>

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	--

<p>施策の内容</p>	<p>子どものころから、家庭生活を基盤とした人生設計と、生涯の仕事やキャリアについて学び、考える機会を提供します。</p>
--------------	---

15		数値目標						目標値
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	
H29事業計画	①小学校において地域の事業所等を訪問し、職業について考える機会をもつ。 ②中学校において職場体験活動を実施し、勤労観や職業観を育成する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①小学校において地域の事業所等訪問を実施する（17校）。 ②中学校において職場体験活動を年間計画に位置づけ、実施する（6校）。							
H29事業実績	①小学校17校において地域の事業所等訪問を実施した。 ②中学校6校において職場体験活動を実施した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・児童・生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に向け、学ぶことと社会との接続を意識させることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・今後も地域の協力を得ながら、各校の実情に合わせた活動を継続していく必要がある。							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	--

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
<p>学校教育課長</p>	<p>B</p>	<p>地域の協力を得ながら、小学校では事業所等への訪問・見学、中学校では職場体験活動を実施しており、これらの活動をとおして、男女共同参画の視野に立った、望ましい勤労観や職業観を育成している。</p>

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
<p>B</p>	<p>関係課の協力を得ながら、様々な人生の選択肢に子どもたちが興味を持つようロールモデルを提示するなど、情報提供の手法を検討すること。担当課として主体的に何ができるかを熟慮し取り組むことを望む。</p>

※担当課長、審議会による評価基準

- A : 目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B : 目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C : 目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供</p>
--------------------	--

<p>施策の内容</p>	<p>男女がともに、社会の様々な事柄を男女共同参画の視点で理解し、豊かに生きる力を養うことができるよう、また、家庭や地域において、男女共同参画の視点を持って子どもを教育することができるよう、情報や学習機会を提供します。</p>								
<p>16</p>	<p>《指標》 男女共同参画を推進する講演会や講座、セミナーなどの開催回数 ※()は当該年度の目標値</p>								
<p>担当課</p>	<p>人権課男女共同参画室</p>	<p>数値目標</p>	<p>H28</p>	<p>H29</p>	<p>H30</p>	<p>H31</p>	<p>H32</p>	<p>H33</p>	<p>目標値</p>
			<p>年6回</p>	<p>(年8回) 年10回</p>	<p>(年8回)</p>	<p>(年9回)</p>	<p>(年9回)</p>	<p>(年10回)</p>	<p>年10回</p>
<p>H29事業計画</p>	<p>①子育て世代の男女が興味を持つような内容、企業におけるワーク・ライフ・バランス推進につながるような内容の男女共同参画講演会を開催。（開催予定日：平成30年2月17日（土）、場所：アイレックス大ホール） ②男女共同参画モデル保育所（飯野こども園）による取り組みへの支援。</p>								
<p>H29事業計画に関する具体的な目標</p>	<p>①参加申込者数700人以上。当日の参加者のうち、30代・40代の人の割合50%以上。参加者に対するアンケート結果より、「男性の家事・育児参画を今より進めたいと思った」と回答した人の割合80%以上。 ②①を含めて男女共同参画を推進する講演会などの開催回数8回。</p>								
<p>H29事業実績</p>	<p>①参加申込者数200人。当日の参加者数166人。当日の参加者のうち、30代・40代の人の割合36.4%。参加者に対するアンケート結果より、「男性の家事・育児参画を今より進めたいと思った」と回答した人の割合98.7%。 ②①を含めて男女共同参画を推進する講演会などの開催回数10回(2月17日女性が輝く地域づくり講演会、2月8日モデル保育所男女共同参画講演会、男女共同参画セミナー計5回、出前講座など計3回)。</p>								
<p>目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果</p>	<p>モデル保育所での講演会や男女共同参画セミナー（子育て世代の男性料理教室）では、子育て世代の男性の参加者が多く、男性の家事・育児参画の重要性を伝えることができた。また、子育て世代の男性料理教室は親子での参加としたため、子どもたちに、お父さんたちが料理する姿と一緒に作る楽しさを提供できた。</p>								
<p>事業の実施状況を踏まえた課題</p>	<p>2月17日に開催した講演会は、目標としていた参加申込者数を大きく下回った。子育て世代を対象とする学習機会として、親だけを対象とする「講演会」という形式が、小さい子どもづれである実態に合っていなかったと思われる。学習機会の提供方法として、対象者に合ったやり方や内容、募集方法とすることが課題である。</p>								

17		数値目標						
担当課	市民活動推進課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の中だけでの子育てではなく、地域活動において老若男女が関わる社会を目指し、家庭・学校・地域連携をすすめるため、地域コーディネーター養成塾を開催する。（コミュニティから推薦を受けた人を対象に、年6回開催予定） 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 今年度については、「どのような事ができるのか」「どのような取り組み方が大切なのか」といった基本的な講座を6回開催する。また、実際に活動している所を視察し、意識啓発を図っていく。 対象者にできるだけ多くの人に参加してもらえよう、情報提供をしながら積極的にはたらきかけをしていく。 							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティからの推薦で、34名の塾生が参加した。 ②地域における役割や考え方などの概論的内容の座学、視察、他団体の事例報告・情報提供、グループワーク等を6回実施した。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<p>個人で行うボランティア活動も、地域コーディネーターがつなぐことで、より具体的に・有効的な活動となるという共通認識を塾生が持つことができた。また、養成塾をきっかけとして平成30年度は、学校支援ボランティア促進事業にもとづく地域学校協働本部が新たに1小学校区増えた。</p>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<p>1つでも多くの小学校区に、地域コーディネーターを配置していく。また継続した人材育成や情報共有も必要となるため、引き続き地域コーディネーター養成塾を開催し、講座内容についても精査していく必要がある。</p>							

18		数値目標						
担当課	図書館		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間（6/23～6/29）に併せて市内3館で特設展を開催し、関連本の展示、貸出を行う。 ②男女共同参画に関する図書等の充実を図り、より啓発できるような図書を精選し、貸出を促進する。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間に併せて6/10(土)～6/29(木)の期間に、市内3館で特設展にてテーマの本を展示し、貸出を促す。 ②男女共同参画に関する図書の出版情報等を収集し、魅力ある関連資料の購入等資料収集を図る。 							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展の開催：男女共同参画週間にあわせて市内3図書館で関連する本を展示し、貸出を行った。 ・男女共同参画に関する図書を38冊を購入。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<p>男女共同参画週間（6/23～6/29）を含む、6月中に特設展を開催し、男女共同参画週間のテーマにあわせて資料を提供し、PRに努めた。</p>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<p>男女共同参画週間のテーマが決定してから展示する本を選ぶが、テーマにあった本があまり出版されていなかったり、古い本しか所蔵していなかったりして、本を選ぶことが難しい。</p>							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。

施策番号	【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供
------	--------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B	子育て講演会やモデル保育所事業、男性の料理教室を開催しながら、様々な学習の機会を提供することができている。
市民活動推進課長	A	学校と地域の橋渡し役を担う「地域コーディネーター」の養成塾については、当初の予定を上回る34名が受講生となり、その内、20名が一定以上の課程を経て修了証を受け取った。また、修了証を受け取った20名の内12名が女性であり、地域リーダーとなる女性の発掘・育成の意味においても、男女共同参画社会の推進に向けて、非常に良い学習機会となった。
図書館長	B	男女共同参画に関する図書の出版情報等を収集し、魅力ある関連資料等を収集すると共に、男女共同参画週間に併せてテーマに沿った図書を展示し、閲覧や貸出することで意識の醸成に努めた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	あらゆる世代の人が楽しく男女共同参画について、集い・学ぶことができるよう今後も取り組むこと。また、事業評価に資する効果測定の方法について再度検討されることを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。